

庁議の概要

開催日 平成21年7月2日(木)

◎項 目

- 1 土佐茶PRの依頼について【農業振興部】
- 2 7月定例県議会質問情報について【各部局等】
- 3 行政改革プランについて【総務部】
- 4 高知競馬 夜さ恋(よさこい)ナイターについて【農業振興部】
- 5 その他

◎内 容

1 土佐茶PRの依頼について【農業振興部】

農業振興部から、土佐茶の産地に対するサポートについて説明及び依頼があり、意見交換を行った。

【概要説明】

- ・お茶は中山間地域の重要な基幹品目であり、一時は10億円を超す産業分野になったが、最近では急須でお茶を飲む習慣が少なくなり、また、ペットボトルも頭打ちの傾向にあり、その価格は非常に低迷をきている。そのため、生産者の意欲も徐々にそがれ、栽培面積も少なくなるなど産地の維持が困難な状況になってきている。
- ・そこで、今年3月には、JAや、茶の間屋である「茶商」などが「土佐茶販売推進協議会」を立ち上げた。これまでは、荒茶を静岡方面に売ることが主流であったが、今後は、仕上げ茶として付加価値を付けて売っていくという取り組みが本格的に始められた。
- ・産業振興計画では、県内産のシェアを48%から60%に伸ばすための取り組みを行うとともに、地域アクションプランの中で仁淀川流域での取り組みがスタートしたところである。
- ・各部局等には、来庁者の方に土佐茶でおもてなしをするとともにそのPRをお願いしたい。また、ペットボトルを購入する際も、県内産のものを選んでもらいたい。

【意見交換】

- ・土佐茶の約50種類のうち20種類ほどの茶葉のパッケージを知事室の出入り口の棚に並べていたところ、記者や県内外のお客様に注目された。私の実体験からすると、結構県内の人が「こんなにあるのか」という感想を持つようだ。(知事)
→土佐茶という統一したブランドが確立されておらず、まだ認知度が低い、雑誌で、紅茶と日本茶が特集されるなど、「お茶」が流行ってきているようなので、飲み方を含めて宣伝をしていきたいと考えている。
高知では、ブレンドして仕上げ茶(ブランド)を作るということをほとんどしてこなかったが、あるテレビ番組で、茶師というブレンドの名人のような方が吾川のお茶と静岡茶をブレンドするとすごくおいしいという話をしたことから、結構問い合わせもきているようだ。
- ・静岡のお茶がおいしいのは、土佐茶を混ぜているからではないか。(知事)
→その茶師は、そのような主張をしてくれている。
- ・体にどのように良いか、書いたらいいのではないか。(副知事)
→成分分析もしなければならないと考えている。メタボには良いと思う。

2 7月定例県議会質問情報について【各部局等】

各部局等から、7月定例県議会の質問情報について説明を行った。

3 行政改革プランについて【総務部】

総務部から、次期行政改革プランの策定について報告があり、意見交換を行った。

【概要説明】

- ・平成 17 年 12 月に策定した高知県行政改革プランは、本年度までのプランとなっているため、本年度中に改定を行うこととしており、明日、1 回目の検討委員会を開催する。
- ・その中でも、職員数の適正化については、職員を含め議論をしていかなければならない。現行のプランでは、来年 4 月に 3,400 人体制にすることにしており、今から 100 人ほど定数を削減する必要が出てくる。
- ・中長期的に見て、スリム化できる場所も考えていかなければならない。特に、各部局長には考えてもらいたいと思っている。
- ・また、大きな論点になってくると思われるのが、第三セクターの抜本的改革である。平成 21 年度に地方公共団体財政健全化法が全面施行されることに鑑み、5 年間で第三セクターの抜本的改革を集中的に行えるよう、地方財政法が改正され、第三セクターの整理または再生のために特に必要となる一定の経費を議会の議決等の手続きを経て地方債の対象とできる特例措置が創設された。これを活用した改革も行政改革プランに位置付けていく必要があると考えているので、関係部局と協力して、議論していきたい。

【主な意見】

(知事)

- ・前回の行政改革プランは大きな成果を上げたと思うが、前回は、減らしていくというベクトルがはっきりしていた。今回は、当然健全化を進めていかなければならないが、官民協働型の仕事も増えてきている状況の中で、各部局での仕事がどう変わり先々に向けてどのような再編が考えられるかについてスクラップアンドビルドを含めて考えるなど、かなりきめの細かい調整が必要になってくると思われる。
- ・今回は、各部局からの積み上げ方式で検討していくというアプローチが特に強く求められると思うので、各部局には協力をお願いしたい。
- ・第三セクターの抜本的改革に関する特例措置は、千載一遇のチャンスであるので、うまく生かしたい。

4 高知競馬 夜さ恋（よさこい）ナイトーについて【農業振興部】

農業振興部から、7 月 24 日に開始される高知競馬の「夜さ恋（よさこい）ナイトー」について説明があった。

5 その他

【主な意見】

(知事)

- ・当初予算の編成に続く補正予算の編成作業だったが、短期間で良い予算を組んだと思っている。
- ・今週月曜日と火曜日には産業振興推進本部が開催された。4 月から 6 月にかけて、推進体制の整備という点では百点満点ではないかと思っている。計画に計上されていて仕事が全く進んでいないというものはなかったと言ってよい。さらに、具体的な事業化に向けて色々仕事を進めているという点も素晴らしかった。今までは、政策としてどうしたかというアウトプット目標についての評価であったが、今後は、徐々に、民間での成果をどれだけ生み出すことができたかといったアウトカムについて指摘が出てくるようになると思う。ファーストスモールサクセス、つまり小さくても早いという成功事例を出していくことで、この方向性はやはり正しかったのではないかと考えてもらえるようにすることが非常に大切ではないかと思う。
- ・新型インフルエンザ対策については、引き続き頑張ってもらいたい、秋以降の流行を考えて応援体制が必要であれば、今の間に、他部局にも習熟した職員の数を増やした方がよいのかもしれない。